

(1) 生業の風景

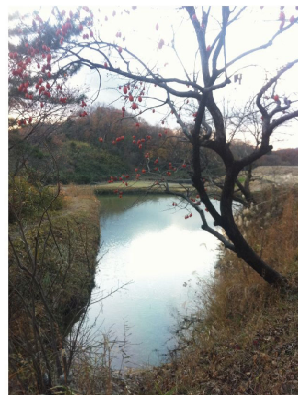
古来より人々の暮らしを支えてきた生業の場である農地（ノラ）は平地に広がり、また斜面に沿うようにつくられ、ヤマ（里山・奥山）やムラ（居住空間）と一体となり農の風景をつくっています。また、地域の風土の中で培われてきた茶筌や竹器製造、酒造りなどが固有の伝統産業の風景を生み出しています。

○農の風景

・平地に広がる農地や斜面に沿った棚田が背後の里山や集落の居住空間と相まって農の風景を作る。農の風景は季節によって異なる表情を見せる。



ヤマ・ムラ・ノラで構成される農の風景



里山の湧水が少ない高山地域では、農業用水を確保するため、黒添池をはじめとする多くのため池がつけられてきた。

○伝統産業の風景

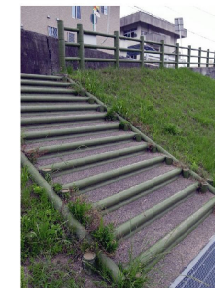
・茶筌や竹器の材料となる竹の寒干しが茶筌の里ならではの、また古くからの造り酒屋が地域に固有の伝統産業の風景をつくる。



一年で最も冷え込む2月初旬に見られる竹の寒干しの風景



茶筌や竹のイメージはデザインモチーフとして引用される



古くからの茶筌師の家は農家に混って間に点在し、昔からの屋敷を間も手、もつぱら茶筌づくりに精魂を打ち込んできた。職人の街、夜業の街といわれた茶筌の里はここである。（生駒市誌Ⅴ p313）

生駒の造り酒屋

中本酒造（上町）



菊司酒造（小瀬）



上田酒造（壱分）

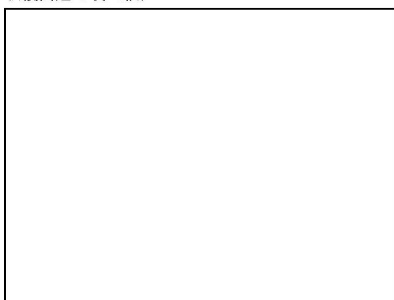


季節により異なる表情

田植えの直後（春）



収穫間近の頃（秋）



稲穂が育つ頃（初夏）



稲刈りの後（晩秋～）



菊司酒造（小瀬）

毎年めぐってくる年中の様々な祭事や催事、人生の節目で訪れる儀礼は、暮らしの中に根付いた文化として受け継がれてきました。これらの特別な時期には見慣れた風景も特別な装いを見せます。それは常時目にする日常の風景に対し、一時的に現れる仮設の風景でもあります。

○年中行事の風景

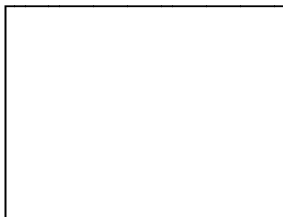
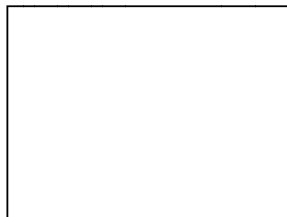
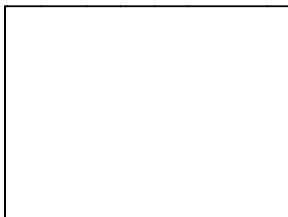
・ 定例で執り行われる年中行事が日常の風景をハレの風景に変える。

生駒の主な年中行事

1月元旦	歳旦行事【さいたんぎょうじ】
1月元旦黎明	往馬大社追鶏祭【いこまたいしゃとりおいのみまつり】
1月中旬	小正月・トンド
2月3日節分	宝山寺節分呈祭【ほうざんじせつぶんほしまつり】
4月1日	宝山寺大護摩会式【ほうざんじおごまえしき】
4月第1日曜日	八大龍王春季柴燈大護摩供【はちだいらゆうおうしゅんきさいとうおごまく】【鬼取町】
5月5日	往馬大社御田植祭【いこまたいしゃおたうえさい】
6月30日	往馬大社夏越大祓【いこまたいしゃなごしのおおほらえ】
8月15日	往馬大社千燈明祭【いこまたいしゃせんとうみょうさい】
8月20日	長弓寺大般若会【ちょうきゅうじだいはんにゃえ】
9月秋分の日	宝山寺万灯会【ほうざんじまんとうえ】
10月体育の日の前日	往馬大社例大祭（火祭り）【いこまたいしゃれいたいさい】
10月体育の日	素盞鳴神社例大祭【すさのおじんじゃれいたいさい】
10月体育の日	伊弉諾神社例大祭【いざなぎじんじゃれいたいさい】
10月第3日曜日	高山八幡宮例大祭【たかやまはちまんぐうれいたいさい】
10月15日	住吉神社例大祭【すみよしじんじゃれいたいさい】
11月第3か4日曜日	宝山寺般若柴燈護摩供【ほうざんじはんじやくつさいとうごまく】

○儀礼の風景

・ 暮らしの中の節目で執り行われる儀礼が暮らしの場を特別な場所に変える。



様々な伝統行事の風景



火取り行事（往馬大社）



夏越大祓（往馬大社） 御輿渡御（往馬大社）  
宵宮祭（天忍穂耳神社） コモキリ（高山八幡宮）  
御輿（琴平神社） ダンジリ曳き回し（天満神社）

一人ひとりが自らの身近な環境に対して目を向け、より良くしていこうという意識が芽生えることで具体的な取り組みにつながり、それが景観に良い影響を与えます。意識を醸成し、取り組みを始め、活動を広げていくプロセスにおいて、一人のアクションからグループや地域のアクションへと広がっていきます。

○環境を改善するアクション

- ・環境美化や自然保全、まちづくりの活動が身近な環境を改善し景観の質を高める。

【環境美化活動】

・みれにあむ

生駒南中学校PTA役員06。「環境、教育、福祉について、各種課題を討議し実践していく」を目標に掲げ、竜田川の環境改善にも取り組んでいる。

・グリーンボランティア「いこま宝の里」

毎月第3土曜日を定例の活動日として、広葉樹林主体のイモ山公園・樹林内の草や笹を刈ったり、風倒木や伸び放題の徒長枝などの不要木の伐採などの整備

最近では、地元子ども会の学習会をはじめ、生駒市内の小・中学校20校の樹木剪定活動も手鋸主体で行っております

・「オリーブの会」

「花のまちづくりセンター設立市民懇話会委員」として、ふるららむの開園計画に参加し、施設と運営の両面で関わってきた。

その後有志が立ち上げ、園内の植樹や花壇の植栽、地域の公園の花壇のお世話をしている。

光陽台中央公園 ひまわりの会

花が好きな地域のメンバーが集まり、光陽台中央公園を安らぎの場所にするを目的に、花壇のお世話をしている。

【自然保護活動】

・里山保全

E C O K A 委員会

継続的な緑地の管理、良好な自然環境の保全と緑地再生、里山的な自然の保全活動を実施

・いこま里山クラブ（平成16年7月発足）

スギ・ヒノキを植林した人工林の森の中で間伐したり、下草を刈ったりということではないでしょうか。しかしこれは一部分でしかありません。その他にも道を補修する、新しく道を付ける、野鳥の巣箱をかける、植樹する、さらには子ども達を集めて環境教育を開催する（一緒に遊ぶでも良い）といったことも活動の一環として活動している

・いこま棚田クラブ

暗越え奈良街道沿いに広がる、歴史的に由緒ある棚田の景観を後世に残そうと、荒廃している棚田の手入れをしている。棚田を生産の場所としてだけでなく、多様な生態系の保全と次世代を担う子供たちの自然学習の場として活用することをめざしている。

【住民協定】



鹿ノ台地区計画（平成3年施行）

地区の整備・開発及び保全に関する方針：

地区整備計画：敷地面積、用途、色彩、屋外広告物な

鹿ノ台花づくり住民協定（平成22年10月1日）

公的スペースにおける花壇の整備・維持管理等の花づくりに関するルール（花苗の植え付け、水やり、除草など）を定めている

平成21年度 国交省 手づくり郷土賞受賞（緑化事業）

平成22年度 奈良県環境保全功労賞（緑化事業）

【コミュニティパーク事業】

「緑の基本計画」に掲げる「花と緑と自然の先端都市・生駒」の実現に向けた取り組みのひとつで、地域の皆さんが身近な公園に愛着をもって利用し、将来にわたり育めるよう公園づくりを支援する事業です。

この事業では、地域の皆さんが主体となって身近な公園のつかい方や育て方などについて話し合い、生駒市と協働でより良い公園にリニューアル（再整備）できます。

○アクションのきっかけとなる意識

- ・自らの暮らしと身近な環境の関係に気づくことがアクションのきっかけとなる。

【まち歩き・タウンウォッチング】

まちづくり塾では、公募により集まった市民が、まちづくりや景観の専門家から話を聴き、学習した。

実際にまちに出て、まちの細部を観察するなどした。



人々が目にする風景は、それを見る者の価値観が反映された時に景観として立ち現れてきます。人は誰でも人格を形成する過程で体験した風景が原風景として心に刻み込まれています。原風景は、景観の見方や感じ方、景観を評価するときの価値観に無意識下で影響を与えています。

○風土への思いを伝える校歌と校章

・後世に伝えていきたいふるさとの風土への思いが校歌や校章に託されることがある。

小学校の校歌に謳われた風土のイメージ

生駒山

・「どっしり」「強い」と結びつきが強い。「霊峰」や「仰ぎ見る」など、神聖さの表現も使われている。

矢田の丘（矢田丘陵）

・「清い」など、比較的軽くさわやかな表現が用いられている。

生駒川（竜田川）・富の小川（富雄川）

・「きらきら」や「さわやか」、「せせらぎ」など、清い流れと結びつきが強い表現が用いられている。  
・竜田川水系、富雄川水系ともに、「歴史にかおるふるさと」など、古い歴史に言及する表現が用いられている。

生駒山に関連するフレーズ

- ・生駒の山にこだまして（生駒）
- ・生駒の山にひびくのは、強い僕らのうた声だ（生駒南）
- ・どっしりとした生駒山（生駒台）
- ・生駒山をながめつつ（生駒東）
- ・流れる雲よ広い空、生駒の山はよびかける（俵口）
- ・緑の野山に囲まれて（豊分）
- ・緑の山に囲まれて（生駒南第二）
- ・霊峰生駒を仰ぎ見る（生駒北）
- ・生駒の山に親しんで（真弓）
- ・浮かぶ雲、生駒の山に交わりて、影おとしゆく（あすか野）

矢田丘陵に関連するフレーズ

- ・みどりの丘の学び舎に（生駒）
- ・矢田の丘、ながめも清い教室で（生駒台）
- ・矢田のやまなみ背に受けて（生駒東）
- ・生駒おろしの咲く丘に、大地踏みしめ立つ校舎（桜ヶ丘）
- ・清い真弓の丘に立つ（真弓）
- ・あさの光さわやかな丘に、仰ぐ空広く（鹿ノ台）
- ・花のかおりただよう丘に、のびゆく木々は深く根をはり（鹿ノ台）
- ・この丘にともに学んで（あすか野）

川に関連するフレーズ

- ・生駒の川にうつるのは（生駒南）
- ・清いわれらの学び舎だ（生駒南）
- ・いざいざ住む水に光りみつめて（生駒南）
- ・流れきらきら生駒川、ゆたかなゆめをそれぞれに（生駒台）
- ・瀬々らぎ澄みて往く水に、映して清き学舎よ（生駒南第二）
- ・富の小川のせせらぎの（生駒北）
- ・音さわやかな学舎に（生駒北）
- ・富の小川のせせらぎに（真弓）
- ・せせらぎは富雄の川に、水の風は過ぎ行く（あすか野）

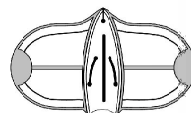
歴史に関わるフレーズ

- ・古い歴史の生駒路を（桜ヶ丘）
- ・歴史にかおるふるさとの（生駒北）
- ・遠くはるかな歴史がたゆたい（鹿ノ台）

生駒山をモチーフにした校章



俵口小学校  
・上部の曲線が生駒山の山並みを表現している



桜ヶ丘小学校  
・中心部のペンの先端が生駒山を表現している

○語り継がれてきた地名

・人々が土地に対して抱いた印象や思いは地名として語り継がれる。

竜田川流域

有里・・・中央奈良盆地に糸里制を敷かれた頃、里と呼ぶ集落名を付けた。  
萩原・・・萩の自生する丘。つい最近までこの地方の丘には萩が多く、秋の月見には尾花とともに風情を添える丘陵であった。

富雄川流域

宮方・・・古代地名で、高山八幡宮の元宮としての杜八幡の「御県」が、宮方の地名のおこりである。

山田川流域

鹿畑・・・鹿が住んでいたことにあるようである。・・・小高い山並の日常のよい丘に畑があって、そこに鹿が群れている情景を思い浮かべられる土地柄でもある。

上・・・鳥見上庄に由来すると思われる。鳥見谷から鷹山谷にかけては、古来より野鳥が数多く生息していたと思われる。この谷は竹藪多く、林相も、鳥類の生息や繁殖に格好のものだったろう。

天野川流域

田原・・・峠を越え、峡谷を溯ってこの地に入った時、狭いながらも田んぼの原っぱが広がっていたことに、起因するのだろう。  
(生駒市誌V)

○名所の風景

・誰もが美しいと感じ、また魅力を感じる典型的な風景がある。

生駒八景

往馬神社や宝山寺、暗がり峠、滝寺公園など、生駒谷の古い歴史に関わる場所や、くろんど池など高山地域の生業を支えうるおおいを与えてきた場所、さらに生駒山上や山上からの夜景など、本市の現代的な景観が、生駒を代表する8つの風景の場所として大切にされている。



1 宝山寺（生駒聖天）



2 暗峠



3 梅屋敷



4 生駒山上



5 滝寺公園



6 往馬神社



7 生駒夜景



8 くろんど池